



高濃度乳腺 (デンスブレスト)

濃度乳腺は白く描出されがんと白く写るため、病変を見分けるのが難しくなってしまう。

近年、日本人女性の乳がん罹患率・死亡率とも上昇している一方、検診率は30%前後と、先進国の中では低いのが現状。日本では、乳がん検査の結果を後日受け取る場合、異常の有無のみで受診者の乳腺レベルは記載されていないのが一般的です。50歳以下のアジア人女性の約80%が高濃度乳腺とされる中、乳がんを早期に発見し適切な治療を受けるためにはどうしたらよいのか、新松戸中央総合病院乳腺外科の高柳博行先生にお話を伺いました。

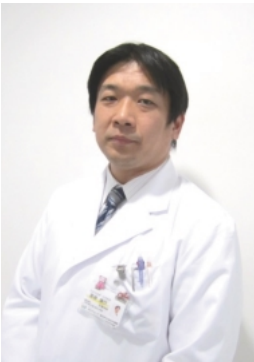
高濃度乳腺（デンスブレスト）とは、乳腺のよく発達した乳房のこと。乳腺濃度の高さは乳房の大小には関係無く、濃度の高い順に〈高濃度〉〈不均一高濃度〉〈乳腺散在（脂肪性）〉と4段階に分類されます（写真参照）。主ながん検査の一つ、マンモグラフィ（※）では、高

濃度乳腺は白く描出されがんと白く写るため、病変を見分けるのが難しくなってしまう。

近年、日本人女性の乳がん罹患率・死亡率とも上昇している一方、検診率は30%前後と、先進国の中では低いのが現状。日本では、乳がん検査の結果を後日受け取る場合、異常の有無のみで受診者の乳腺レベルは記載されていないのが一般的です。50歳以下のアジア人女性の約80%が高濃度乳腺とされる中、乳がんを早期に発見し適切な治療を受けるためにはどうしたらよいのか、新松戸中央総合病院乳腺外科の高柳博行先生にお話を伺いました。

「自分の乳腺濃度」がどの程度かを知っておくことは大事です。

外来で検査を受けたら、結果説明の際、医師に

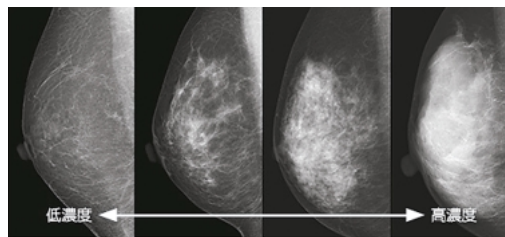


乳腺外科の高柳博行（たかやなぎひろき）先生

確認しましょう。乳腺濃度の高い方は、マンモグラフィで異常が無くても医師と相談してエコー検査も受ければがんリスクの軽減につながります。

新松戸中央総合病院には、県内でも数少ない3Dマンモグラフィの撮影可能なデジタルマンモグラフィ装置が導入されました。従来のマンモグラフィとほぼ同線量の低被爆で、精細な多数の断面画像が撮影可能。複雑な乳房の構造を重なりなく立体的に確認できるため、高濃度でも病変を見つけやすくなりました。

日本人女性の11人に1人がかかると言われる乳がん。早期に発見し適切な治療を受ければ治りやすい病でもあります。そのためにも定期的な検査を受けたいものです。



乳腺濃度の高さを表した写真

する乳房専門のX線検査。超早期乳がんのサインである石灰化の検出には最も有効。

※マンモグラフィ及び乳腺超音波は保険適応外検査です。ただし症状のある場合は保険診療可能です。

取材協力／新松戸中央総合病院乳腺外科

☎047-345-1111

データ引用／

GE REPORTS JAPAN